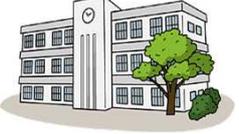
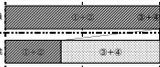
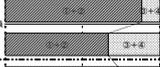
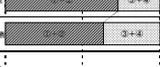
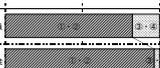


平成25年度 広島市立己斐上中学校 学校評価 年間 成果と課題

目 標	評価指標	アンケート	アンケート結果の集計					評価	アンケート結果のグラフについて			成果と課題
			①	②	③+④	⑤	⑥		75%	50%	100%	
<b>中期経営重点目標</b> ① 誰にでもわかりやすい授業づくりをめざす ② 生徒が自己肯定感を持ち、安心できる学校づくりをめざす ③ 保護者、地域に学校理解のための積極的な情報発信を行う。	各教科の関心・意欲・態度や知識・理解の観点別評価のAとB評価の生徒の割合を80%以上にする		アンケート結果をA～Dで表したものです。 ① よくできた ② できた ③ あまりできなかった ④ できなかった					評価はアンケート結果の数値を基に【A:80%以上】>【B:70%以上】>【C:50%以上】>【D】を基準に判定し、評価を大きい文字のA～Dで表しています。(数値はアンケート結果のAにBを加えた値で判定しています。)	アンケート結果の数値をグラフで表しています。			評価について
			<b>アンケート</b>			<b>アンケート結果</b>			成果と課題			
			<b>中期経営重点目標</b> 「書く力」ついたと感ずる生徒の割合(80%以上を目標とする)	教員 ・授業の始めに「本時のめあて」を黒板に書き示し、生徒に即認できていますか。	75% 24% 100.0% 0% 0% 0.0%	A				毎時限のめあてを黒板に示すことにより、教員も今まで以上に授業のめあてを明確に意識すると同時に、生徒に対しても見通しを持って授業を受けることができ、おまけに主体的に学習に臨む姿勢が育ちつつあると認められる。また、黒板を自分で活用し、授業の進め方について行っているなど、教員の指導が「書く力」について、効果的であると認められる。		
				生徒 ・授業の始めに「本時のめあて」が即認できていますか。	82% 14% 96.1% 3% 1% 3.9%	A						
<b>中期経営重点目標</b> 「書く力」ついたと感ずる生徒の割合(80%以上を目標とする)	教員 ・自分の考えや意見を授業中やその他の時間に書けるように、「書く力」の育成を意識した活動を工夫していますか。	71% 29% 100.0% 0% 0% 0.0%	A		○成果 「書く力」の育成について、教員も様々な場面で相手の「書く力」を育てる活動を実践している評価が出ている。また、生徒の「自分の考えや意見を授業や評価表、生活ノートなどに書いてみる」の習慣が定着し、自分の考えや意見を授業や評価表、生活ノートのなかに書くようになってきた。 ○課題 自分の思いを文章にすることは抵抗がなくなっている。これからは、自分の考えを論理的に表現できる力を育てることを目的に、指導方法を工夫改善していく。そのために「書く力」を育てるための学習活動をさらに充実させる。また、学習の場面に言語活動をとり入れるなど、効果的な思考や表現が促されるような指導を継続していく。							
	生徒 ・自分の考えや意見を授業や評価表、生活ノートのなかに書いていますか。	65% 22% 87.2% 9% 4% 12.8%	A									
<b>中期経営重点目標</b> 1日1時間以上家庭学習をする生徒の割合(80%以上を目標とする)	教員 ・家庭学習の習慣化に向けて、保護者に対して、啓発、指導をしていますか。	44% 22% 66.7% 22% 11% 33.3%	C		○成果 家庭学習の習慣が身に付いている生徒の割合は、前期と比較し、約9%上昇し、評価もC評価からB評価に変わった。保護者についても、約8%上昇していることから、学習習慣が身に付きつつある生徒は着実に増えている。また、教員についても、学習状況や進捗状況などについて把握し、家庭学習の習慣化について、教科・学級指導の中で取り組むことができている。 ○課題 1日1時間以上の家庭学習の習慣が身に付いている生徒は、目標とする80%を越えることではなかった。学力定着には家庭学習の積み重ねが不可欠であることから、家庭学習に立ち、保護者・家庭の協力を得ながら、家庭学習の重要性や具体的な取り組み方法を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。							
	生徒 ・家庭学習(教科、家庭教師等も含む)週間は1日1時間以上身につけていますか。	47% 26% 72.7% 14% 13% 27.3%	B									
	保護者 ・お子様は家庭学習の習慣がついていると思いますか。	24% 40% 63.4% 27% 10% 36.6%	C									
<b>短期経営重点目標(1年目)</b> 「書く力」ついたと感ずる生徒の割合(80%以上を目標とする)	教員 ・家庭学習の習慣化に向けて、保護者に対して、啓発、指導をしていますか。	47% 33% 82.4% 14% 0% 17.6%	A		○前期より評価を重くしていくことで教員の意識も高まり、前期に比べて達成率も75%に達してきた。目標の87%も近いところで今後も授業改善や工夫を続けていきたい。 ○課題 他の方の話を聴く姿勢が身に付いていないと答えた生徒の割合は96.5%と、前期と比べてほぼ上昇しており、目標数値も前期と同じく上昇することができた。理由として、授業や学活等の場面で、相手の話を聴く姿勢が身に付いていないと答えた生徒の割合は、前期より減少している。また、家庭学習の習慣化に向けて、保護者・家庭の協力を得ながら、家庭学習の重要性や具体的な取り組み方法を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。							
	生徒 ・家庭学習(教科、家庭教師等も含む)週間は1日1時間以上身につけていますか。	80% 17% 96.5% 3% 0% 3.5%	A									
	保護者 ・お子様は家庭学習の習慣がついていると思いますか。	31% 49% 80.2% 14% 2% 19.8%	A									
	教員 ・家庭学習の習慣化に向けて、保護者に対して、啓発、指導をしていますか。	41% 41% 82.4% 14% 0% 17.6%	A									
<b>短期経営重点目標(1年目)</b> 言語活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力を育てる	教員 ・グループ対話や対話活動など、話をしっかり聞き、自分の意見を発表できる工夫や場面を設定していますか。	41% 41% 82.4% 14% 0% 17.6%	A		他の方の話を聴く姿勢が身に付いていないと答えた生徒の割合と比較すると、家族の話をしっかりと聞いていないと答えている保護者の割合は、前期より減少している。また、家庭学習の習慣化に向けて、保護者・家庭の協力を得ながら、家庭学習の重要性や具体的な取り組み方法を啓発・指導し、家庭学習の一層の充実を目指していきたい。							
	生徒 ・話を聴くとき、相手の話をしっかりと聞いていますか。	74% 21% 95.2% 4% 1% 4.8%	A									
	保護者 ・お子様は家庭では自分の気持ちや考えを話すこと(場面)がありますか。	46% 44% 90.1% 9% 1% 9.9%	A									
<b>短期経営重点目標(1年目)</b> 自尊心を育み、生徒同士の良い人間関係づくりや連帯感のある学校づくりを行う	教員 ・学級活動や行事等の場面をとらえて、両方や立ち協力体制が取りやすい工夫をしていますか。	53% 35% 88.2% 12% 0% 11.8%	A		○成果 前期の数値をさらに3.3ポイント上げ、前期同様できなかったと答えた生徒がなかったことは年間を通して大きな成果といえる。また、教員も協力体制が取りやすい工夫を継続して行ってきた成果と考えられる。 ○課題 3学年が受験期を迎えるなど家庭での生活も変化してきたことも考えられるが、前期を2.4ポイント下回った。今後、家庭での役割などを考えられるよう指導を継続していく。							
	生徒 ・学級活動や行事等に参加するとき、クラスの友だちと協力できていますか。	84% 12% 96.8% 3% 0% 3.2%	A									
	保護者 ・お子様は家庭内で掃除など家の手伝いをしていますか。	29% 30% 58.8% 37% 5% 41.2%	C									